

小曽根 真 & No Name Horses

SAPPORO

2011

10.19(水)

開演19:00(開場18:30)

ニトリ文化ホール

(旧北海道厚生年金会館)

札幌市中央区北1条西12丁目

HAKODATE

10.20(木)

開演19:00(開場18:30)

函館市民会館 大ホール

函館市湯川町1-32-1

S席6,500円 A席5,500円(税込)

※未就学児入場不可
※開演後、お座席へのご案内を一部制限させていただきます。
※チケットは、紛失/当日忘れ等の再発行は出来ません。

札幌公演チケット取扱い

- 道新プレイガイド TEL.011-241-3871
- チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード:140-645]
- ローソンチケット TEL.0570-084-001 [Lコード:16282]
- セブン-イレブン 店内マルチコピー機
- 大丸プレイガイド(南1西3) TEL.011-221-3900

※チケットぴあ、ローソンチケットをご利用の際、購入方法別に別途手数料が加算されます。詳しくはお買い求めの店舗にてお問い合わせください。

主催:北海道新聞社、道新スポーツ、FM北海道、道新文化事業社

函館公演チケット取扱い

- 道新プレイガイド TEL.011-241-3871
- チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード:140-645]
- ローソンチケット TEL.0570-084-001 [Lコード:16282]
- セブン-イレブン 店内マルチコピー機
- 函館市民会館 ●函館市芸術ホール ●丸井今井函館店5階クレオカウンター
- 棒二森屋本館7階カードコーナー ●七飯町文化センター
- 北斗市総合文化センター ●ヤマハアベニュー五稜郭 ●河合楽器製作所函館ピアノセンター

※チケットぴあ、ローソンチケットをご利用の際、購入方法別に別途手数料が加算されます。詳しくはお買い求めの店舗にてお問い合わせください。

主催:北海道新聞社、道新スポーツ、FM北海道、(財)函館市文化・スポーツ振興財団、道新文化事業社

協賛:石田文具 SECエスシー 新タウ企画 VOLVOカーズ 元町マリンハウス

チケットのご購入は **道新プレイガイド**

検索 **道新プレイガイド公式サイト**
<http://doshin-playguide.jp>

クレジットカードで
簡単決済!

道新プレイガイド モバイル
モバイルサイトオープン!
いつでもどこでもチケットが買える!



宅配便で道内どこでも指定日、指定時間にチケットをお届けします。 お客様のご負担として別途送料が加算されます。詳しくは道新プレイガイド公式サイトまたは、お電話にてお問い合わせください。 **お問い合わせ 道新プレイガイド TEL.011-241-3871 (9:30~18:00)**

小曽根 真 & No Name Horses

小曽根 真

Makoto Ozone (Piano)

父・実の影響でジャズに興味を持ち独学で音楽を始める。12歳の時にオスカー・ピーターソンの演奏を聴き、ジャズ・ピアノを始める。80年渡米。83年ボストンのバークリー音楽大学、ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年カーネギーホールにてソロ・ピアノ・リサイタルを開き、米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」にて全世界デビュー。同時にゲイリー・バートのグループに参加、ワールドツアーを開始。この頃からバートをはじめとする様々なミュージシャンに曲を提供するようになる。これまでに多数のCDをリリースしており、03年ゲイリー・バートとのデュオ作「ヴァーチュオーシ」(Concord)で、第45回グラミー賞に初ノミネート。近年はクラシックにも本格的に取り組み、デュオ、ラヴィンヴィッチ、尾高忠明、井上道義、大植英次らの指揮のもと、シンフォニア・ヴァルツヴィア、新日本フィル、札幌響、大阪フィル、北ドイツ放送響などと共演。ガーシュウィン、バーンスタイン、モーツァルト、ベートーヴェン、ショスタコーヴィチの協奏曲でソリストを務め、高い評価を得ている。10年6月、ゲイリー・バートと全国ツアーを行う。同年、ショパンの生誕200年を記念したアルバム「ロード・トゥ・ショパン」を発表し、秋に同名の全国ツアーを成功させた。2011年には井上ひさし氏の音楽劇「日本人のへそ」で作曲を担当し、ピアニスト役で出演。このほか人気FM番組「OZ MEETS JAZZ」のパーソナリティを長年つとめるなど、ジャズの世界を超えて幅広く活躍している。2011年4月、国立音楽大学(演奏学科ジャズ専修)教授に就任。

公式ホームページ: <http://makotoozone.com/>



No Name Horses

ノーネームホースイズ

ピアニスト小曽根真が率いる総勢15名のビッグバンド。メンバーのほとんどが彼ら自身のバンドなどでリーダーとして活躍している日本を代表するミュージシャンたちである。

2004年3月、小曽根がプロデュースを手がけた伊藤君子(シンガー)のアルバム『Once You've Been In Love 一度恋をしたら』(Video Arts Music)のレコーディングのために結成。当初はこの録音のためだけの臨時編成だったが、世界的に見ても引けをとらないハイレベルなサウンドに小曽根は大きな手応えを感じ、継続して活動することを決意する。

翌年3月、アルバムの発売を記念して約1ヵ月に及ぶブルーノート全国ツアーを成功させた。ツアー終了直後、ニューヨークから名エンジニアのジョー・ファアラを招聘してレコーディングを行い、2006年1月にファースト・アルバム『No Name Horses』を発表。小曽根を中心に、メンバーが作品を持ち寄り全曲インストゥルメンタルの強力作となった。『小曽根真 ザ・トリオ』の人気レパートリー「スティンガー」や「スリー・ウィッシュズ」のビッグバンド・バージョンも収録し、メンバーによる独創的なアレンジと実力者揃いのパワフルなアンサンブル&ソロは、世界的なレベルを誇る。また、世界を見渡しても、新しいレパートリーをレコーディングしコンサートを行っているビッグバンドは希少である。

同じく2006年1月には、ニューヨークに世界中から約10,000人以上にも上る音楽関係者が一同に集い4日間にわたり開かれた世界最大のジャズ・コンベンション「IAJE (国際ジャズ教育協会)」で演奏し、スタンディングオベーションによる大喝采のうちに世界デビューを飾った。3月には、ファースト・アルバムの発売記念で再び日本全国ツアーを展開した。

2007年には東京JAZZに参加。シャープでスピード感あふれ、表現豊かなセッションは「着実にこの世界へ新風を送っている」(日本経済新聞)と絶賛された。2008年3月は、セカンドアルバム『No Name Horses II』の全国ツアーで約1ヶ月熱いステージを繰り広げた。

2009年5月『No Name Horses』のラテン音楽をテーマとしたアルバム『JUNGLE』のリリース。このアルバムにも参加しているラテン・パーカッションのパネル・サトゥルニョをゲストに7月から全国クラブ・ツアーを行い、続けて7月末から8月にかけてフランスのロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭とスコットランドのエジンバラ・ジャズ・フェスティバルに出演し、各地で絶賛を得る。2010年7月、ウィーンおよびフランスのロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭にて演奏。

ビッグバンドの醍醐味を余すところなく伝えてくれるNo Name Horses。彼らの音楽が、日本のみならず、世界中から注目を集める日も遠くない。

小曽根 真 (Pf)、エリック宮城 (Tp, Flh)、木幡光邦 (Tp, Flh)、
奥村 晶 (Tp, Flh)、岡崎好朗 (Tp, Flh) 中川英二郎 (Tb)、片岡雄三 (Tb)、
山城純子 (B-Tb)、近藤和彦 (As, Ss, Fl)、池田 篤 (As, Fl)、三木俊雄 (Ts)、
岡崎正典 (Ts, Cl)、岩持芳宏 (Bs, Cl)、中村健吾 (B)、高橋信之介 (Ds)

